

# ひろしま 住まいづくり コンクール 2017作品集



「ひろしま住まいづくりコンクール」は、住む人の笑顔とプロフェッショナルたちの成果を広く伝える場所です。



# INDEX

01-02  広島県知事賞  
**小さな木と土の家**  
 佐々岡 由訓さん [南佐々岡建設]

03-04  リフォーム部門 最優秀賞  
**「ネオアレス翠町」** ～賃貸集合住宅スケルトン再生～  
 平田 欽也さん [一級建築士事務所 アトリエ平田]

05-06  新築部門 最優秀賞  
**府中の家**  
 園田 泰丈さん [曹達意匠設計研究所]

07-08  空き家再生部門 最優秀賞  
**尾道「楽」のある住まい**  
 國本 広行さん [國本建築堂株]

09  リフォーム部門 優秀賞  
**世代を超えて住み継がれる安心の家**  
 田中 健太郎さん [株]タナカ住建]

10  リフォーム部門 優秀賞  
**トネリコの家**  
 竹野内 政信さん [株]竹野内建設]

11  新築部門 優秀賞  
**木かげの家** ～軒下で住まう家～  
 小村 悟さん [山根木材ホーム株]

12  新築部門 優秀賞  
**矢賀 木組みの家**  
 永本 清三さん [永本建設株]

13  リフォーム部門 奨励賞  
**母屋と蔵を改装し三世代古民家へ**  
 大賀 渡さん [南道建設]

14  リフォーム部門 奨励賞  
**街暮らしを楽しむ。**  
 西田 寿美世さん [株]大之木ダイヤモンド]

15  リフォーム部門 奨励賞  
**露路のある家** ～世帯の調合～  
 塚本 雅久さん [塚本雅久建築設計事務所]

16  新築部門 奨励賞  
**大上の家**  
 花本 大作さん [花本大作建築設計事務所]

17  新築部門 奨励賞  
**沖塩屋の家** ～コンパクトハウス～  
 清水 貴史さん [一級建築士事務所 アトリエ平田]

18  新築部門 奨励賞  
**棚田と棲む家**  
 櫻井 朗さん [KALEIDO DESIGN]

19  空き家再生部門 奨励賞  
**お気に入りの浸る。**  
 原井 信幸さん [株]大之木ダイヤモンド]

本作品集に掲載の1㎡当たりの工事費の目安については、次の点に注意して参考にご覧下さい。  
 ※外構工事費は含まれていません。  
 ※リフォーム部門・空き家再生部門の作品は工事床面積、新築部門の作品は延床面積を基準としています。

## ～ ごあいさつ ～

「住まいづくり」は、私たちにとって人生で最もワクワクすることの一つではないでしょうか。家族みんなが集まる明るい居間や庭、子育てを終え夫婦で開放的に暖かく過ごせる間取り、自身の趣味に気兼ねなく打ち込める空間…。人生100年時代ともいわれ、今後のライフステージやライフスタイルが見直される中で、これからも様々な住まいへの想いやこだわりが生み出されていくことでしょう。

ひろしま住まいづくりコンクールは、広島県内の優れた住まいづくりを表彰し、住まいづくりの見本・参考事例として広く紹介することにより、本県の住環境のさらなる向上と住宅産業の活性化に寄与することを目的としています。

8回目を迎えた今年度のコンクールには、42作品(リフォーム部門19作品、新築部門20作品、空き家再生部門3作品)の応募をいただき、審査委員会による厳正な審査の結果、広島県知事賞をはじめとする15点の受賞作品を選定いたしました。

本コンクールでは、「住まいづくり」の過程において、建築主などの住み手と、設計者や施工者などの創り手の間で交わされた想いや、その想いに応えるための創意工夫に注目したいと考えています。

そのため、書類選考だけでなく現地審査を実施することにより、住み手と創り手が住まいづくりに込めた想いや実現した暮らしの豊かさについて直接お話を伺い、さらに実際の「住まい」を体感した上で、最終的な評価を行っています。

このたび広島県知事賞を受賞した作品は、伝統的構法にこだわりながら新築された作品で、高い蓄熱性や調湿性を有する土塗壁と断熱材等を活用することで、快適な室内環境を実現するなど、木造住宅の新たな方向性を感じさせる作品です。

また、最優秀賞には、築38年の賃貸集合住宅を、愛車を眺めながら過ごせる住戸や多様なライフスタイルに対応できるフレキシブルな間仕切りを設けた住戸へと、現代のニーズに合うように一棟まるごと改修した作品、両親の住宅や趣味のためのスペースを居住部分からの距離感に配慮し配置するとともに、吹き抜け等により室内の環境調整を工夫した新築作品、一般的な木造住宅の空き家を、明るく開放的な空間にするとともに、家事動線を改善するなど、現代のライフスタイルに合う住宅に再生した作品が選ばれています。

このような住み手と創り手がともに創り上げた「住まい」と、そこに込められた想いを、この作品集にまとめました。皆様に魅力的な住まいづくりとして共感していただくとともに、本コンクールを通して、魅力的な住まいが一層普及していくことを期待しています。

最後に、このコンクールに応募いただいた多くの皆様、厳正な審査をしてくださった福田委員長をはじめとする審査委員会の皆様、そして、御協力いただいた関係団体の皆様に対して、厚く御礼申し上げます。

平成30年3月

広島県都市建築技術審議官 友道 康仁

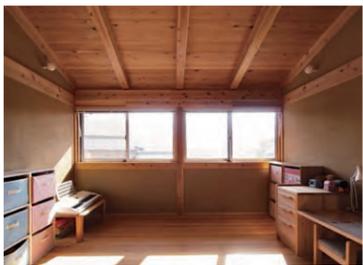


# 小さな木と土の家

広島市



キッチン。杉の無垢板で作った対面型キッチン。住まい全体を見渡せる位置に配置した。



子供室。子供が大きくなって真ん中で間仕切ると、隠れ家的な4帖の子供部屋が2つできる。



主寝室。天井はなく、5寸の登り梁に30mmの杉野地板が仕上げ。窓からは白木山が一望できる。



リビング。窓からやわらかな光が降り注ぐ。格子となっている網戸からは心地よい風が通り抜ける。



建前の様子。手刻みされた材料はクレーンなどは使わず、1本ずつ大工によって組み立てられる。



土壁塗りの様子。木小舞の下地に、土とワラを混ぜさせた壁土を塗っていく。



外観。軽快で緩やかな屋根が特徴。杉板の外壁と植栽が時と共に環境と馴染み、町の風景となる。



アプローチ。奥にそびえる白木山を背景にコナラやアカシデなどを植え、雑木の小道とした。

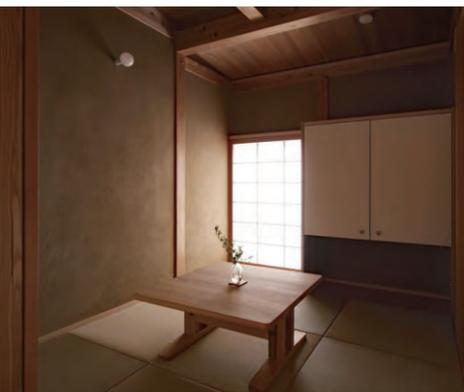


ダイニング。団らんの中心となるダイニングテーブルとイスも杉でデザインした。



**創意工夫点**  
妻と子供2人と暮らすために大工である夫が建てた住まい。日本の気候風土に調和した伝統的な住まいを発想の原点として、自然との共生をテーマに、豊かで心地よい暮らしの実現に取り組んだ。木材は全て国産の杉を使用し、壁は土壁の中塗り仕上げ。光と風を取り込むシンブルな架構とし、素の「木と土の器」を目指した。永く使い込むことで愛着がわき、家族の暮らしに馴染む住まいである。

建築主	佐々岡 由訓さん
設計者	佐々岡 由訓さん 〔有〕佐々岡建設
TEL	(082) 554-7540
施工者	設計者と同じ
企画 立案者	設計者と同じ



和室。4帖ほどの広さ。来客、団らん、家事、客室などフレキシブルに使える。奥には、小さな縁側。



浴室。ハーフユニットを使用し、壁と天井は外壁と同じ赤身の杉板。



洗面室と家事室。収納と家事動線がコンパクトにまとめられている。

**選評** 審査委員 元廣 清志  
衰退の一途をたどっている伝統的な工法を用い、大量生産、大量消費社会から、持続可能な社会への変換を迫られる現代、多くの学べるべき点を、その伝統工法において実現した作品である。木は、再生可能な資源であることに着目し、伝統的な木組み、耐震性、将来の改修、修繕に備えて優れた機能を有していることに注目している。特筆すべきは、分業化された現代の住宅生産体制の中で、人と人のつながりを取り戻すことを、この建築を通じて体験し、日本の文化の伝承と共に身近にある素材で伝えようとしていて、バランスのとれた活用と実践が図られているところである。

**選評** 審査委員長 福田 由美子  
広島県の気候風土に、そして都市郊外の田畑と住宅が混在する宅地に馴染むように、丁寧につくられた家である。伝統的な技術の継承と発展を見据え、手刻みによる木構造や土壁などの伝統工法に最大限こだわりつつ、現代生活で求められる耐震性や快適性に応える工夫が随所に見られ、上質な手触り感に溢れている。加えて、家族の関係や内と外とを緩やかにつなぐことを意図した平面計画により、面積以上の豊かな空間が実現できている。

「ネオアレス翠町」

賃貸集合住宅スケルトン再生

広島市



1階は格子フェンス、2~4階はバルコニー目隠しパネルでプライバシーが守られている。



1階はガレージハウス、2~4階はフレキシブルな1LDK、縦に伸びるアクセント壁でスタイリッシュに生まれ変わった。

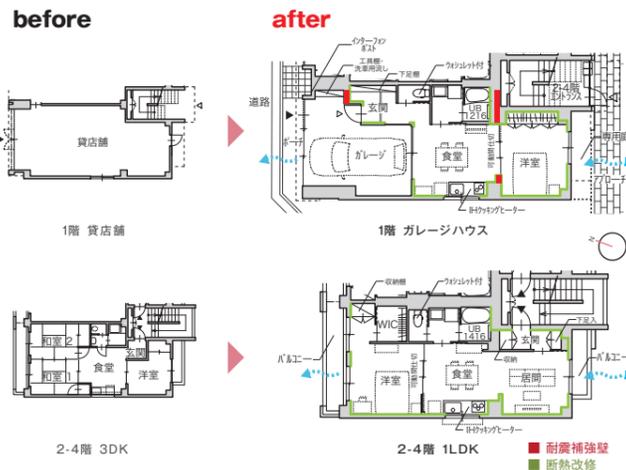


before



after

2~4階。食堂から洋室を見る。右のアクセント壁内は水廻りや収納。



1階居室全景。中央の可動間仕切りの奥は洋室。左の水廻りも引き戸で繋がった。



ガレージハウスは住戸毎にインターホンとポストを設けている。



before



耐震補強工事。



断熱改修後、設備ライフラインを刷新。

**選評** 審査委員 佐野 泰樹

築38年の賃貸住宅に新たな息吹が吹き込まれた。店舗だった1階はガレージハウスに。リビングから愛車を眺めることができる。2階から4階はスタイリッシュなデザインマンションに。住宅ストックの活用といった政策の要請や、価値観が多様化する消費者からのニーズに応え、耐震改修や断熱改修も施した。この作品は賃貸住宅のリノベーションの先駆的な事例として評価でき、これを契機に広島県内の住宅ストックの活用が更に進むことが期待される。



1階食堂よりガレージを見る。ペアガラスのサッシを採用した大開口から愛車を眺められる。

**創意工夫点**

築38年の賃貸集合住宅をまるごと再生するプロジェクト。建物は一度スケルトン（骨組み）状態にして、耐震補強・断熱改修・設備を刷新し、現代に合った住まいへとリノベーション。貸店舗だった1階は車やバイク好きな方が愛車と暮らせる「ガレージハウス」にコンバージョンし、2~4階は多様な生活スタイルで暮らせる「フレキシブルな1LDK」に改修した。「ネオアレス翠町」は新築と変わらない安心・安全で快適な居住性能を持ったスタイリッシュなデザインマンションに生まれ変わり、地球環境にもやさしい集合住宅となった。

建築主	株式会社 櫛こげんや
設計者	平田 欽也さん 〔二級建築士事務所 アトリエ平田〕 TEL(082)92226700
施工者	俵透さん 〔山陽工業株式会社〕 TEL(082)23226471
企画 立案者	設計者と同じ



物置を見る。多趣味な施主のための大容量の物置は将来的に部屋としても利用できることを想定している。



吹抜を見る。夏季は窓を開け熱気を排出する。連続窓から日照を取り入れ、格子を通して拡散し下階に送る。



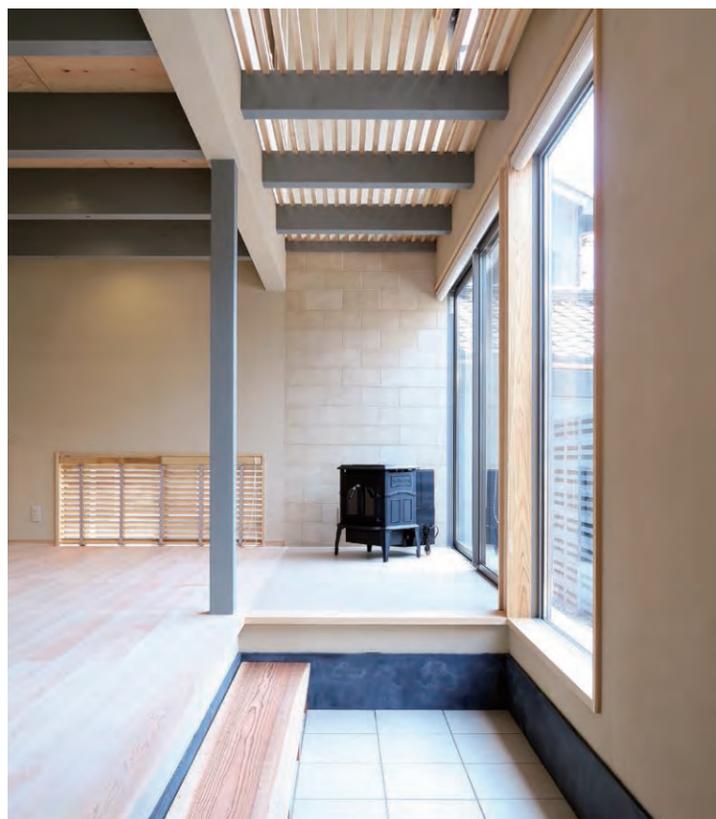
キッチン設備を見る。引出や内蔵機器の配置をすべてオリジナルで設計。高性能な金物で操作感を高めた。



居間から階段を見る。珪藻土の壁と檜の床は素材本来の色を活かす仕上げ方法とし、品のある印象とした。



物置から通り土間を見通す。ガラスの建具によって建物の最大距離を見通せることで広がりを感じさせる。



土間部分からペレットストーブを見る。冬季は上部の吹抜けにより上階へ暖気を送る。



軒先を見る。南面に突き出した軒は年間を通して室内に入る日照を調整する。



両親宅の前庭から中庭を見る。二つの庭が運動して利用でき、親族や友人との交流の場となる。



階段正面を見る。踏板は無垢材を独自に圧着して厚みを持たせ、安心感のある丈夫な造りとした。

建築主	非公表
設計者	園田泰丈さん 雷達意匠設計研究所
施工者	八谷恭介さん 株式会社 八谷工務
企画 立案者	設計者と同じ
TEL	(084) 959-6227
TEL	(0824) 72-8278

創意工夫点

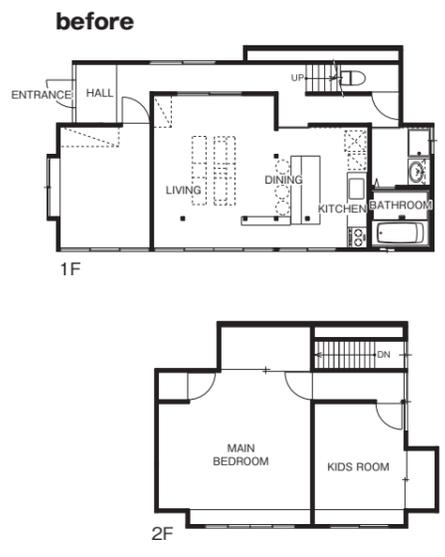
敷地は施主の祖父が住んでいた場所  
で隣には両親宅が位置していた。各世  
帯とその友人が集える場所として両親  
宅の前庭と一体利用できる中庭を設け  
た。その中庭を中心として敷地全体を  
広く使い、建築形状を利用して周辺環  
境との調和を図った。室容積に対して内  
部空間は大きく広がりを見せられるよ  
う配慮した。珪藻土や無垢材など自然  
素材を多く使いながらも建築形状や開  
口部の工夫によって機械設備に頼らず  
質の高い室内環境を保つ住宅とした。

**選評** 審査委員 山田孝延

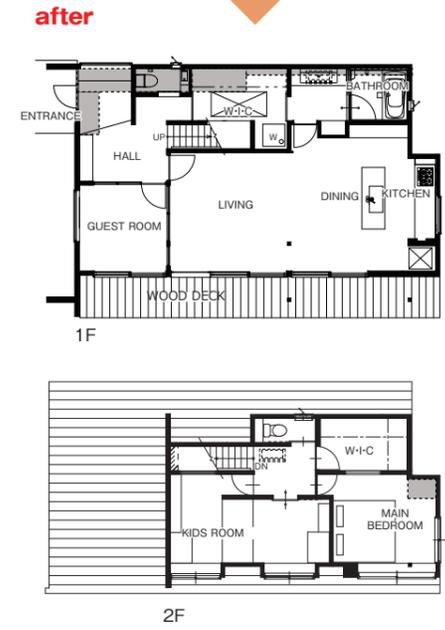
隣の両親宅前庭と一段下がった中庭を、両親宅、主屋、サタリーをまとめた付属屋、物置で取り囲み、周囲の環境に対応した巧みな配置である。家族生活の場となる主屋とワークスペースを兼ねた物置を通り土間で繋ぐ平面は、性格の異なる振る舞いと行為の場を設定した、明快で自由度の高い空間構成だ。主屋の吹き抜けが室内温熱環境に重要な役割を果たすなど、単純な構成を細やかな配慮と工夫が支えており、珪藻土と木の自然素材が醸すニュートラルな室内デザインも好感が持てる。

尾道「楽」のある住まい

尾道市



玄関側からの視線は袖壁を出すことによってゆるりと遮り、閉鎖的な感じを作らないプライベート空間に。



北側ではあるが、朝から優しい光が降り注ぐ空間。適所適量の収納により見た目もすっきりとしている。



広く長い縁側で四季折々の草木の変化を楽しめるようになった。



before



リビングを見る。左の柱は一度切られていたものを、傾きを修整し新しく取替えられている。



before



キッズルームの広さを確保するためベッドスペースは共有に。将来上と下で間仕切れることも可能である。



after

リビングから庭、キッチン、ゲストルーム、玄関とすべてが見渡せるようになっている。



質の良い眠りにこだわり、「寝る事」と「起きる事」の快適さを考えた照明計画、窓、部屋の広さとした。

**創建工夫点**  
この住宅は一度販売目的のリフォームがされており、その際に通し柱などが切られ柱も補強などされず家が傾いていた。その為耐震補強と現代のライフスタイルに即した間取りへと改善する必要があった。既存の南側大開口を生かし日中電気をつけなくても明るい空間を実現。また軒を大きく伸ばし縁側を設けることで、夏涼しく冬暖かいリビングで快適に過ごせる。家事動線はキッチンから北側に集約し、ラクで楽しくなる動線計画である。収納は適所適材適量に片づけのしやすい空間に工夫されている。

建築主	非公表
設計者	國本 広行さん 〔國本建築堂株〕 TEL(0848)389091
施工者	設計者と同じ
企画 立案者	設計者と同じ

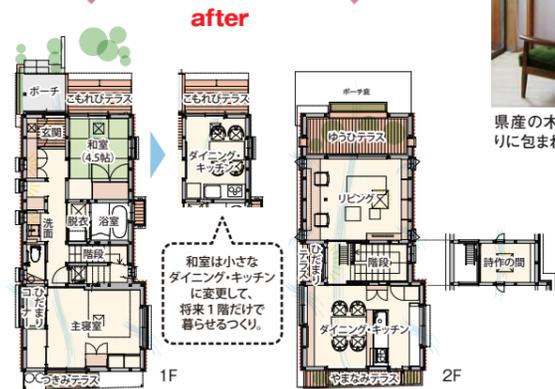
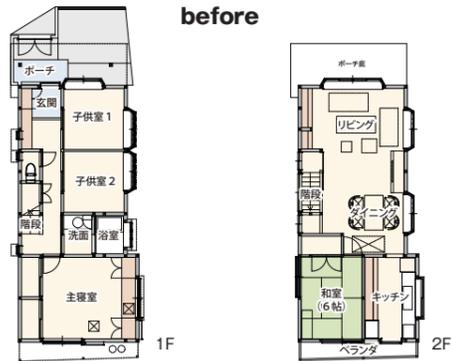
**選評** 審査委員 中西 亨  
前道路路より数メートル下がった場所に家があるという敷地の悪条件、以前のリフォーム時に通し柱が切られ、家が傾いているという既存家屋の悪条件を克服し、まさに「楽」のある住まいに魅了。働く主婦の要望である「家事動線」収納計画「広がりのあるLDK」の実現と安心して暮らせる耐震補強を両立させている。それが故、新築並みのコストが予想されながらも職人を育てる意味も込めて、あえて「空き家再生」にチャレンジした設計士及び施主の心意気にも敬意を表したい。ヘリンボーン調の床材、アンティーク家具、室内の木製建具等、インテリアへのこだわりも秀逸で、センスの感じられる素敵なお宅である。



勾配天井と高窓で明るく、山並みを楽しめるダイニング・キッチン。



減築によって生まれた半屋外のゆうひテラスは、アウトドアのリビングとして室内と一体的につながる。



トネリコ属の高木がシンボルツリー。既存のポーチ庇とコンクリート塀（一部）を活用。



県産の木とスイス漆喰を用い、自然素材の温もりにも包まれた内装の主寝室。



急勾配の直線階段からゆるやかな折返し階段へ新たに付け替え。



# トネリコの家

海田町



before  
収納が少なく片付かない。壁付けで孤独に家事をするキッチン。



主寝室はリビングに近接させているが、間にウォークインクローゼットを挟むことで静かで落ち着ける空間になっている。



after  
家族の暮らしを支え続ける柱や梁は出来るだけ残し、新しい建材もその雰囲気に合わせて選択し調和を図った。



大小便所と手洗い所で細切れだった空間を一間にして広々としたトイレ。こだわり満載のインテリアでご主人自慢の場所に。



キッチンが家族と会話しながら家事ができる対面式に。壁面収納など収納も充実させた。



揃いの格子引戸を開ければ、頑強な大黒柱を中心に、和室、LDK、客間が段差なく一続きに広がる。



# 世代を超えて住み継がれる安心の家

広島市

**選評** 審査委員 植木繁之  
子育てが終わり夫婦二人暮らしのためのリフォーム。家にいる時間が長くなり、また体力低下も伴う中で快適に暮らすための工夫が随所に施されていた。その一つに減築がある。二人暮らしに合わせて、部屋を狭くし、減築テラスを設けることで、緑のある暮らしを実現されていた。住み慣れた街で、コンパクトでありながらも、心地よく日々を暮らすことのできるリフォームは、これからの高齢社会には必要な選択だと思ふ。

**創意工夫点**  
地域とのつながりを大切にしたい、サステイナブルな「住まいと暮らしのリノベーション」プロジェクト。ライフステージの変化に合わせた空間の変更に同時に、耐震省エネバリアフリー性能の向上を図り、60代夫婦2人がいつまでも安心して再生した。住み慣れたコミュニティで暮らし続けること、地域の木と手と技でつくること、みどりや街並みにうおいを生むことを考え、住み継がれるストック改善を目指した。

建築主	非公表
設計者	本多由香さん・井上拓哉さん 〔株〕現代計画研究所 TEL(03)3999486001
施工者	竹野内 政信さん 〔株〕竹野内建設 TEL(082)82227711
企画 立案者	今井信博さん 〔株〕現代計画研究所 TEL(03)3999486001

**選評** 審査委員 宮崎昌一  
築百年超えの先祖から引き継いだ家を財産と考え、今では手に入れることが困難な大きな梁などを最大限生かした改修事例である。従来の建物の面影は残しながら構造材を活用し、現代のライフスタイルに相応しい耐震性能断熱性能の確保や、使い勝手の良い間取りへの変更により、これからの長く安心して暮らしたいという施主の要望を具現化することに成功している。多くの県民が自分も行いたいと思えるような費用で実現していることも高く評価したい。

**創意工夫点**  
経年により老朽化して、強度にも不安があった築100年を超える家。まず家のずれや歪みを解消して基礎から耐震性を補強。断熱材と断熱サッシで夏冬とも快適な環境に。和室一間を解体し、梁を見せた勾配天井の開放的なLDKとなり、3世代の家族が集える場所になった。寝室をトイレの隣に配置し、サンルームの物干し場も最短距離で行けるよう生活動線も見直した。安全に配慮し、現代の便利で機能的な新生活スタイルに即しつつも、これまで隠れていた堂々たる古材の魅力味を味わえる贅沢な空間が出現した。

建築主	榎谷省三さん
設計者	田中健太郎さん 〔株〕タナカ住建 TEL(082)842285503
施工者	田中健太郎さん・野口智明さん 〔株〕タナカ住建 TEL(082)842285503
企画 立案者	設計者と同じ



連続する登り梁とガラス面が外と中の境界を曖昧にする。



1階から2階を包み込む大屋根による開放的な勾配天井空間。



自然素材が際立つ間接照明。



同一方向に貼られた床・天井材が伸びやかな空間を創る。  
屋根裏部屋のような2階洋室。



地に根ざし、軒の低いどっしりとした外観。



南側の軒は登り梁と垂木を併用することで1間の深さにし、夏は日射を遮り冬は陽を取り込む。



駐車スペースを確保するため2階を4.5尺張り出した北側。



大きな登り梁は屋内から屋外へと繋がっており、屋内でありながら屋外にいるように感じることが出来る。



南側のLDKには大開口のサッシを設け、開放的な空間に。



LDKから続くウッドデッキの先には子どもたち家族の住まいがあり、いつでも集える場所となっている。



北側のオーバーハングには150×420×8000mmの材を使用。大きく張り出した構造材は力強い印象。

建築主	非公表
設計者	小村 悟さん 〔山根木材ホーム株式会社〕 TEL(082)2543234
施工者	溝渕 丈二さん 〔山根木材ホーム株式会社〕 TEL(082)2543234
企画 立案者	設計者と同じ

創意工夫点

敷地は福山市近郊に位置し、周辺は田園に囲まれた造成地での計画である。1階から2階まで包み込む大屋根で空間を構成した。合掌造りにした登り梁が室内から室外へと連続し、大きな開口部をとることで、外部を感じられる内部空間を設計した。8寸勾配の屋根断面が、内部空間のなかに高い場所と低い場所を生み出し、用途に合わせた居心地の良い天井高の空間を設計した。

選評

審査委員 岩田 忠一

団地内公園に隣接する、大屋根切妻の外観がシックな建物である。内部は登り梁を現しにしており、内装に広島県産杉材をふんだんに使用した。広くて開放的な空間を、リビングから見上げることが出来る造りだ。南側に全面サッシを取り付け、気になる暑い夏の日差しを長く持ち出した軒先で遮りながらも室内には反射光を採り入れ落ち着いた暮らしのできる住まいである。

建築主	非公表
設計者	永本 清三さん 〔永本建設株式会社〕 TEL(0829)316655
施工者	設計者と同じ
企画 立案者	設計者と同じ

創意工夫点

両親が戦前から住んでいた家。その隣の家に住んでいた施主は、子どもたち家族が帰ってくることをきっかけに、老朽化が進んでいたこの家を最終の家として建て替えることを決断した。建築地は古くからの家が残るエリアにあり、街並みにあった重厚なデザインを希望。南側の軒は登り梁と垂木を併用。一間という深さを有し、高い日射遮蔽性とデザインを持つ。また、構造材には広島県産の杉、檜を使い、大工の手で刻んで仕上げた。

選評

審査委員 衣笠 准一

建築主の要望である「街並みにあった重厚なデザインには2階部分をオーバーハングすることで実現している。構造材を県産木材の利用、伝統工法の採用で次世代の木工の育成を考慮している。南側のLDKには大きな開口部を設け、1間の軒下に設置した縁側は子ども世帯との関係性を意識した住まいとなった。外張り断熱、高気密、高い日射遮蔽、車椅子利用など高齢者に配慮した、ゆったりとした住まいを実現している。

# 母屋と蔵を改装し三世代古民家へ

広島市



新たに移したキッチンには光が届かず真っ暗だったので、2階の一部屋を減築することで採光を確保した。



before



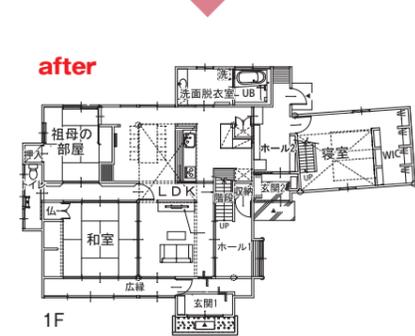
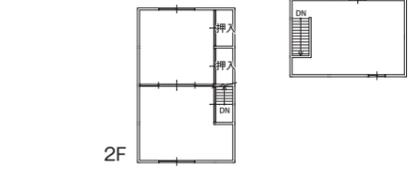
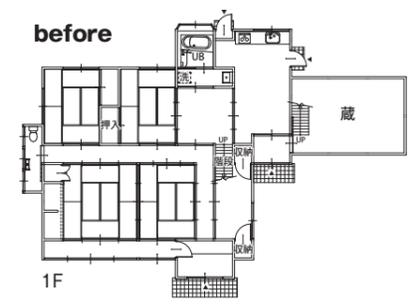
使用されていなかった和室を居間とし、隣の上座の和室も利用しやすくしている。



玄関から広縁に続く築通しの建具や下駄箱。建築当初からある下地窓は移設して残している。



蔵を改装し主寝室とした。ベッドの裏側と2階の一部をウォークインクローゼットとしている。

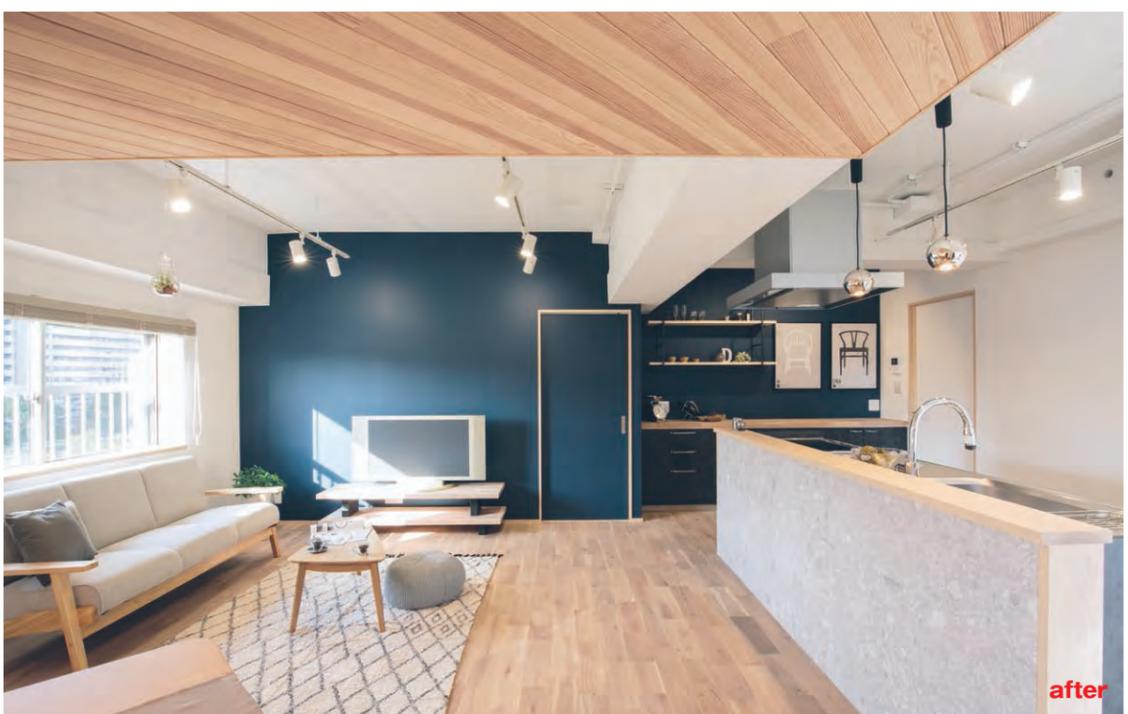


**創意工夫点**  
古民家ならではの既存の部材や空間の印象を残しながら、断熱や吹き抜け、対面キッチンなど現代生活の利便性の融合に工夫を凝らした。古民家ならではの使用されていない続き間も、生活の中で自然に活用できるよう配慮している。工事中は、既存の柱や梁、木製建具などを生かすため、養生、保管に最大限の注意を払った。その上で新材と旧材が交わる箇所を、真壁造りという美しさを残す表現に留意している。

企画 立案者	施工者	設計者	建築主
施工者と同じ	大賀 渡さん TEL(082)2326483	道本 聡さん TEL(082)2326483	非公表

# 街暮らしを楽しむ。

広島市



LDKは調湿効果のある無垢フローリングと漆喰で快適に。まず「住みやすさ」を大事に。



家族がLDKのどこにいても、お互い背中を向けることのない間取り。



明るく眺めの良いキッチンを部屋の中心に。LDKで広く家族の後ろの窓には広島街が見える。



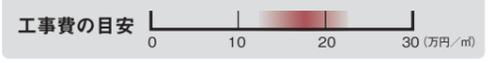
before



広島街は自転車での移動が便利。大事な愛車も自室で保管や整備ができる。



ダイニングの天井は一番低いFL+2000mmの梁に合わせて板張り。自然に窓の景色に目が向く。



**創意工夫点**  
築37年のマンションの一室をスケルトンにし、モデルルームとしてリノベーションした。ここは広島駅や繁華街が近い。街なかにも関わらず、窓からは緑豊かな京橋川が望める。その広島街の景色を楽しんで生活に取り入れていただきたい。それがこのリノベーションのコンセプトとなった。またデザインだけではなく、無垢フローリングや漆喰など体にやさしい素材を使用し、半年程度お住まいになった住宅の購入者様のアレルギー発作も抑制されているとのこと。今後も体にやさしい、環境を活かしたリノベーションをしたい。

企画 立案者	施工者	設計者	建築主
設計者と同じ	株式会社木ダイモ TEL(0823)211413	西田 寿美世さん TEL(0823)211413	株式会社木ダイモ



勾配を周辺住宅に合わせて、山の稜線をイメージした屋根を連ならせて、周辺環境との関係を意識した。



敷地高低差を活かし半階上げた家族室。遠方に山の稜線が見える。



主室と家族室を視覚的にゆるやかに繋げている。



近景に家々を、遠景に山の稜線を見ることが出来る。



ボリュームのずれに効果的に開口を設けている。



ハイサイドライトからのやわらかな光に溢れるおらかな空間。



深い軒は熱負荷の低減やプライバシーを確保。外壁メンテナンスを軽減している。

**創意工夫点**  
 外観は勾配を周辺民家に合わせ、山の稜線をイメージした屋根を連続させ、集落の風景と調和させた。室内からは開口部が周囲の風景を切り取り、周辺環境とのつながりを感じられる。生活の中心となる主室と、敷地段差を活かし半階上げた家族室を視覚的に連続させ、家族のつながりを感じながら生活する空間構成としている。周辺環境との関係性から導かれた深い軒は、熱負荷の低減やプライバシーの確保、外壁メンテナンス等の軽減を可能とする。

建築主	非公表
設計者	花本大作さん 〔花本大作建築設計事務所〕 TEL(0823)27.3501
施工者	濱本護さん 〔株三四五屋〕 TEL(0823)36.3458
企画 立案者	設計者と同じ

写真/益永研司



# 大上の家

呉市



露路は隣地との境の空間であり、千鳥張のラワン合板や既存の2階窓を利用した吹抜けから光や風を入れ、外部を感じる。



露路からLDKを見る。奥の扉の向こうには親世帯のDK。

before



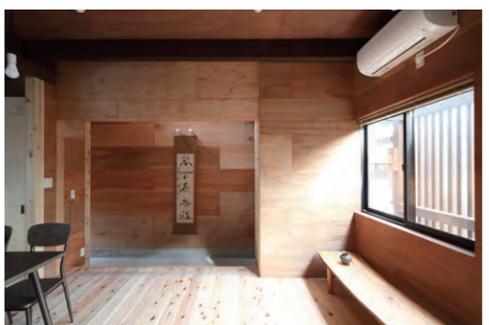
after



夜の外観。格子からの照明の光が道路に映る。



街並みと調和するよう、光、風を導入しながらも、視線を調整し、軽快なデザインとした。



LDKから露路を見る。玄関から北側勝手口まで直通させ拡張している。LDKの一部として開放でき、床の間として利用できる。



**創意工夫点**  
 息子夫婦が二世帯として住む為に、築48年の酒屋として利用されていた家に新たな住宅空間を挿入した。南側前面が道路に直面している為、南側の部屋は閉鎖的になつており、玄関は利用されていない状況であった。周辺環境との関係性を構成する為の格子、南北への動線を容易に確保する事と柔軟な住空間の為の露路を新たに設けた。また、旧店舗であった土間スペースのリアフリー化をし、新旧二世帯が調合するように計画した。

建築主	非公表
設計者	塚本雅久さん 〔塚本雅久建築設計事務所〕 TEL(0865)69.6711
施工者	川崎龍也さん 〔株川崎建設〕 TEL(0865)67.9925
企画 立案者	設計者と同じ



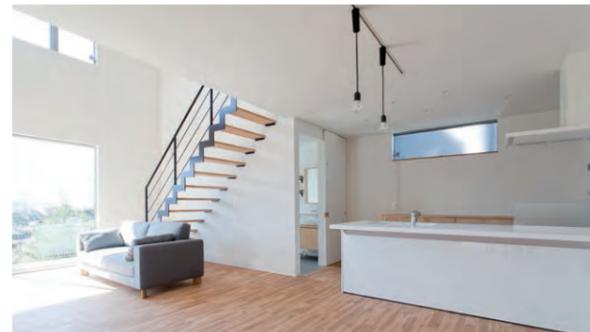
# 露路のある家

世帯の調合

福山市



キッチンから1階全体が見渡せるよう設計した。

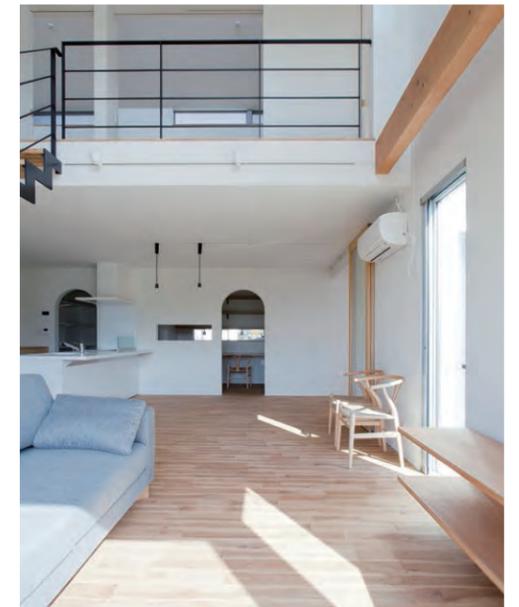


イナズマ階段が中心にあり、アクセントとなる。



南側は約5mの擁壁。日差しを考慮し軒を1.3m出した。

土間空間。玄関に入ると大きな開口がお出迎え。



リビングより全体を見る。



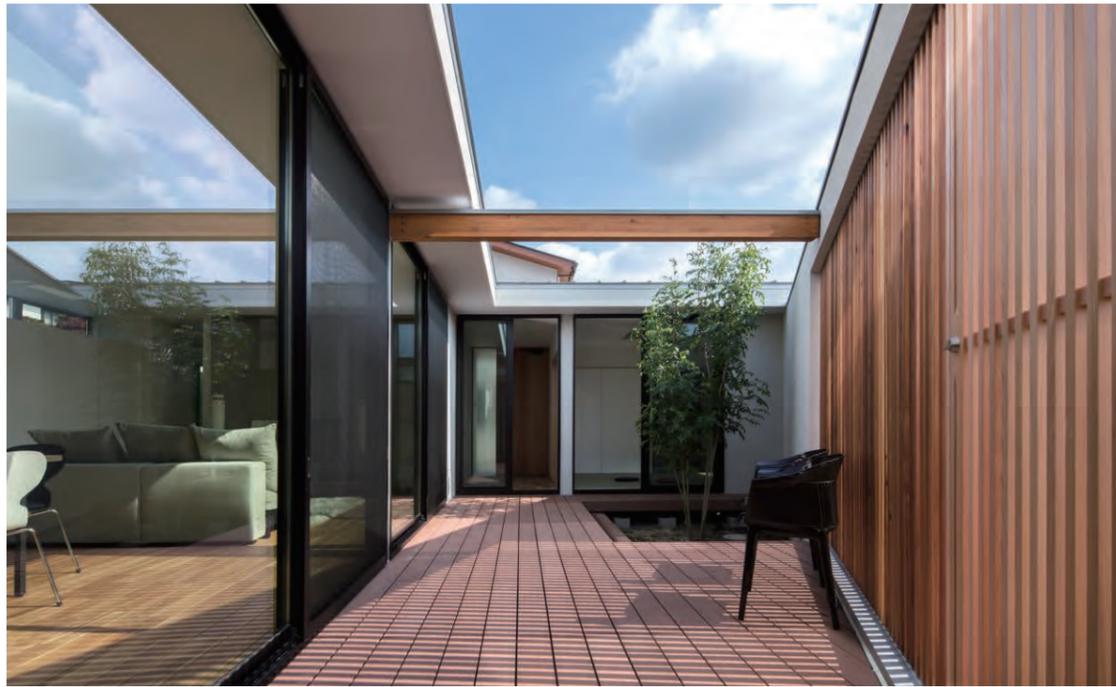
建築主	清水貴史さん・清水恵梨さん
設計者	清水貴史さん 〔二級建築士事務所「アトリエ平田」〕 TEL(082)92226700
施工者	屋敷悟さん 〔愛重プロパティズ株式会社〕 TEL(082)29118811
企画 立案者	設計者と同じ

創意工夫点

敷地は、高台で南に抜けた眺望のよい場所に位置する。明るく開放的な暮らしができるよう、南に大きな開口を設け、住宅地に面する北側は高窓を採用した。廊下など無駄を削り、機能を凝縮することで家族の変化に柔軟に対応できる間取りとした。「住む」ではなく「楽しむ」をコンセプトに設計することで、家族とともに年を重ね楽しむ家となった。



子供室にはロフトから明るい光が入る。将来的には2つに分けられるよう設計した。



中庭から各居室を望む。田園と居室に挟まれた中庭が内と外を緩やかに繋げてくれる。



リビングより中庭・田園を望む。田園の四季折々の情景が室内にも広がる。



田園側の外観。周辺環境に溶け込むよう、田園側は高さをなるべく抑えた。

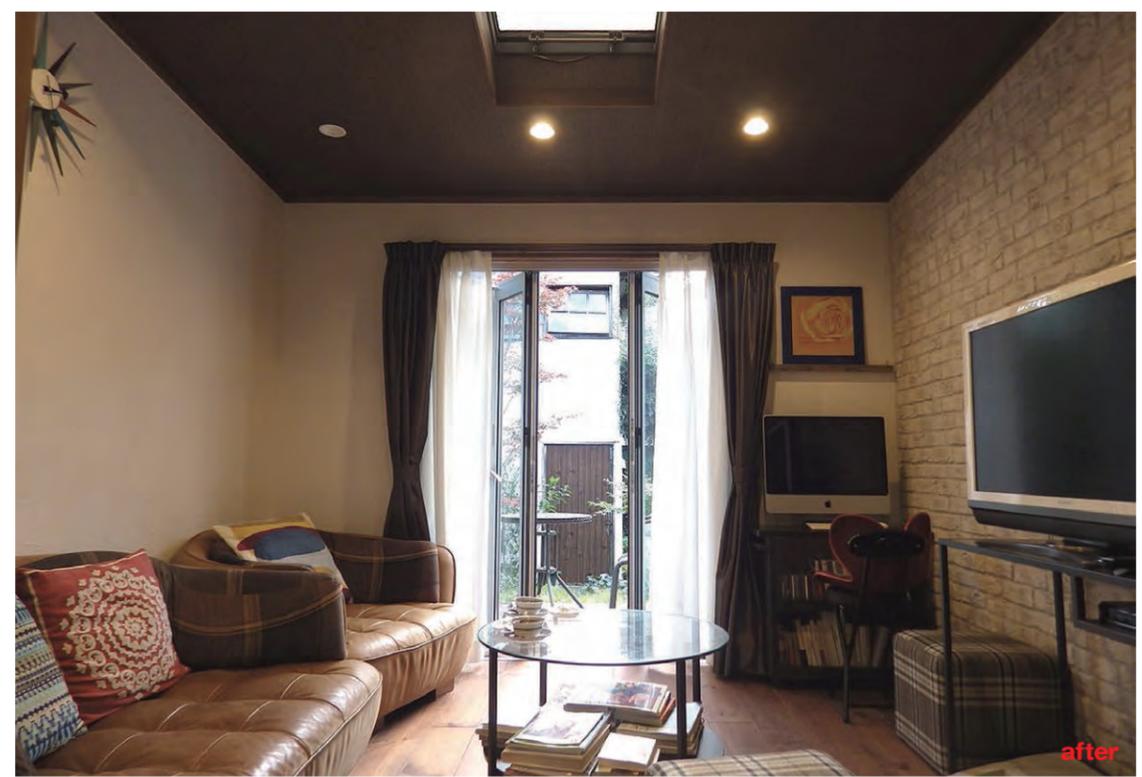


中庭に面した掃出し窓を開放すると、LDKと中庭が繋がりが一体的な空間となる。

建築主	非公表
設計者	櫻井朗さん [KALEIDO DESIGN] TEL(082)2245805
施工者	水田 優樹さん 〔株大和興産〕 TEL(082)8141111
企画 立案者	設計者と同じ

創意工夫点

のどかな田園風景が広がる変形した敷地。その場所に馴染むよう敷地形状そのままに台形型の住まいを配置した。廊下を無くし中庭を囲むように居室同士を繋ぎ合わせ配置することで、中庭と各居室が一体となった大きなワンルームのような使い方ができる間取りとした。また、居室を直接田園に開かず間に中庭を設けることにより、自然と段階的に結ばれ、程よい距離を保ちながら緩やかに内と外を繋げ、日々の気候や四季折々の情景が感じられる住まいとした。



素材にこだわったリビング。庭への開放感を出すためにサッシをフルオープンタイプに取り替えた。一目惚れして購入されたソファ等、お気に入りのインテリアに囲まれた空間。



オリジナルのテーブル。その上には季節の果物を乗せたお気に入りの皿、椅子も施主が選んだ。

before



建物とアプローチの間に植栽する事により、導線に変化を持たせた。



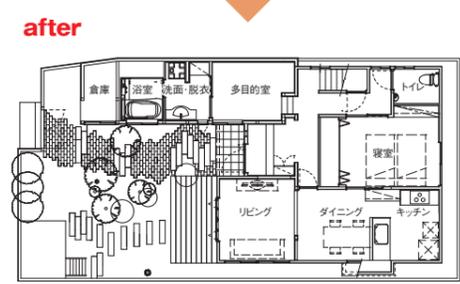
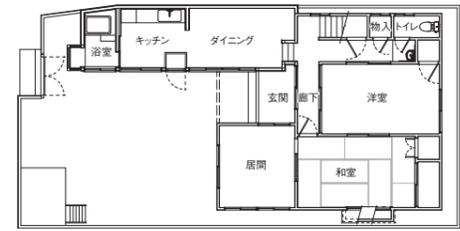
ただの通路としてのアプローチ。



居間の床が和室より一段低くなっている。天井高にゆとりを持たせるため、床の高さを揃えず、段差を残した。



キッチンからダイニング・リビングを通して、庭を見られるように配置した。



after

**創工夫**  
施主がガーデンにこだわりの持っており、キッチンからリビング・庭への繋がりを持たせたいという希望があった。キッチンが元の位置では実現が難しいため、場所を移動させることにより、ダイニング・リビングのラインを揃え、ウッドデッキ・庭への繋がりを持たせた。  
居心地の良いリビングにするため素材にもこだわり、天井は江田島で造られた紙布、壁は一面をタイル・三面にカルクウォール（スイス製漆喰）、床は無垢のハイフレットを使用した。

建築主	非公表
設計者	原井 信幸さん TEL(0823)211413
施工者	設計者と同じ
企画 立案者	設計者と同じ

## ひろしま住まいづくりコンクール2017 概要

### 趣旨・目的

住まいづくりの現場で日々生み出されている、建築主の想いや事業者の創意工夫にあふれた住まいは、これから住まいづくりをする人にも、とても参考になるものです。このコンクールは、優れた住まいづくりを表彰し、住まいづくりの見本・参考事例として広く紹介することにより、本県の住環境のさらなる向上と住宅産業の活性化に寄与することを目的としています。耐震や省エネルギー、本県の地域性などに配慮しつつ、建築主の求めるライフスタイルを形にした、新しい「ひろしまの住まいづくり」が発見できることを期待しています。

### 審査委員会 (敬称略)

- 委員長 福田 由美子 [広島工業大学 教授]
- 委員 佐野 泰樹 [(独)住宅金融支援機構中国支店 支店長]
- 委員 元廣 清志 [(公社)広島県建築士会 会長]
- 委員 衣笠 准一 [(一社)広島県建築士事務所協会 副会長]
- 委員 山田 孝延 [(公社)日本建築家協会中国支部 教育・表彰委員長]
- 委員 岩田 忠二 [(一社)広島県建築センター協会 理事長]
- 委員 中西 亨 [広島県住宅産業四団体協議会 広島ハウスメーカー協会 会長]
- 委員 植木 繁之 [(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部 副支部長]
- 委員 宮崎 昌二 [広島県 建築技術部長]

### 応募総数

42作品(リフォーム部門19作品,新築部門20作品,空き家再生部門3作品)

### 賞について

- ◎広島県知事賞 1点
- ◎リフォーム部門 最優秀賞1点 優秀賞2点 奨励賞3点
- ◎新築部門 最優秀賞1点 優秀賞2点 奨励賞3点
- ◎空き家再生部門 最優秀賞1点 奨励賞1点

### スケジュール

エントリー登録受付期間	平成29年8月18日～9月25日	最終選考	平成29年12月21日
作品応募受付期間	平成29年9月1日～10月2日	結果発表	平成30年 1月16日
書類審査	平成29年10月13日	表彰式	平成30年 3月15日
現地審査	平成29年11月13日,23日,28日	受賞作品展	平成30年 4月上旬から約1年間 (県内各市町)

コンクール応援隊は、ひろしま住まいづくりコンクール2017 を応援しています。



コンクール応援隊に関しては、広島県住宅課にお問い合わせください。



**主 催 広島県  
ひろしま住まいづくり支援ネットワーク**

広島県, 呉市, 福山市, 三次市, 東広島市, 廿日市市,  
(独)住宅金融支援機構中国支店, (公社)広島県建築士会,  
(一社)広島県建築士事務所協会, (公社)日本建築家協会中国支部,  
(一社)広島県建築センター協会, 広島県住宅産業四団体協議会,  
(一社)日本住宅リフォーム産業協会中国四国支部

**後 援 中国新聞社, NHK広島放送局, 中国放送,  
広島テレビ, 広島ホームテレビ, テレビ新広島,  
広島エフエム放送, 国土交通省中国地方整備局**

**事務局 ひろしま住まいづくり支援ネットワーク  
「ひろしま住まいづくりコンクール2017」事務局**

(公社)広島県建築士会 事務局  
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F  
TEL082-244-6830(代)